

メコン流域 8 県民衆ネットワーク  
〒43000 ノンカイ県ムアン郡プラチャク通り  
ノンカイ県ムアン郡事務所(旧館)

仏歴 2554(西暦 2011)11 月 29 日

件名:メコン河委員会評議会とサイヤブリダムに関する懸念  
メコン河委員会(MRC)評議会委員、環境自然資源大臣閣下

私たちはこれまで、チェンライ、ルーイ、ノンカイ、ブンカン、ナコンパノム、ムクダハン、アムナート、チャルーン、ウボンラチャタニ各県の代表で構成するメコン河流域 8 県住民ネットワークの名の下に、ラオス人民民主共和国内のメコン河で計画中のサイヤブリダム建設事業の状況を注視してまいりました。

メコン河流域 8 県の住民の多くは、サイヤブリダム建設計画について十分に知識を得られるほど情報が公開されておらず、一方で計画が急速に進展するため、とりわけ将来的に発生する被害の問題について不安を感じております。

メコン河流域の住民は、これまで何年にもわたって、メコン河を遮った中国領内の 4 カ所のダム建設の影響を体験してきました。これらのダムはサイヤブリダムより遠方にあるにもかかわらず、下流域の住民に明白な被害を及ぼしてきました。もしサイヤブリダムが完成すれば、ラオス、カンボジア、ベトナム、タイの姉妹兄弟たち、そして支流に住む人びとと、さらに多くのメコン河流域住民が打撃を受けるものと思っております。

サイヤブリダムが建設された場合、発生が予想される被害で重要なものとして、大ナマズをはじめとする魚類の回遊路が遮断されること、流域全体の生態系が破壊されること、河岸農業のための土地が喪失することなどがあり、総じて、農業・社会・文化などの面での影響に発展し、メコン河流域に住む人びとの生活を直撃することになります。

ラオス人民民主共和国内に建設されるとはいえ、サイヤブリダム建設計画にはタイが直接的に関与しています。というのも、タイのチョーカンチャー社が計画を進め、タイの銀行 4 行から資金援助を受け、また電力の大半を購入するのがタイ発電会社だからです。

私たちは、メコン河委員会(MRC)の通知・事前協議・同意手続き(PNPCA)に関して強い懸念を表明いたします。サイヤブリダム建設計画は、加盟 4 カ国から承認を得ていません。また、仏歴 2538(西暦 1995)年のメコン河協定にしたがえば、河川資源に関する決定は、協力に重点を置いた上でなされるべきです。

タイ・カンボジア・ベトナムは今年 4 月 19 日のメコン河委員会合同委員会特別会合で、サイヤブリダムについて、承認前に追加の調査と協議が必要であるとの懸念を表明し、「事業がもたらす効果に関して評価・協議する十分な機会」がもたれていないとしていることから、PNPCA 手続きはいまだ完了していないと見なすのが当然です。

そこで私たちは、メコン河委員会評議会委員である大臣閣下に、加盟国に対して、国際法と PNPCA にのっとり、仏歴 2538(西暦 1995)年のメコン協定にしたがって手続きを行い、サイヤブリダムの現状についてはなんら結論が出ていないと見なすべきだと主張していただきたく、ここに要請いたします。

仏歴 2554(西暦 2011)年 12 月 7 日から 9 日、カンボジアで開催されるメコン河委員会評議会  
でサイヤブリダムに関する協議が行われることに先立ち、大臣閣下が、4 月 19 日のタイ政府によ

る、「PNPCA 手続きが不十分で、市民社会の懸念を慎重に検討すべきである」との表明の立場に基づいたお考えを堅持するよう、ここに要請いたします。

また、私たちは、メコン河委員会評議会タイ代表のお立場として、大臣閣下が、タイ発電公社と開発業者であるチョーカンチャーン社による国家間電力売買契約について、メコン河協定にしたがった手続きが十分なものとして完了し、日々の生活でメコン河の資源に依存している住民をはじめとする関係者の意思決定参加が実現するまで、署名を見送るよう要請いたします。

本件について、早急な検証と対応をお願いいたします。

敬具

(翻訳 メコン・ウォッチ)